



北相模総守護社  
亀ヶ池八幡宮

# 龜ヶ池



創刊号 [平成18年8月1日発行]

発行／亀ヶ池八幡宮社務所  
〒229-1123 神奈川県相模原市上溝1678  
TEL.042-751-1138 FAX.042-757-3811  
URL <http://www.kamegaike.jp>  
E-mail: info@kamegaike.jp



## 御由緒



御祭神は応神天皇(菅田別命)である。御創建は不詳であるが、康永二年(一三三三年)社殿を再建し、文禄・明暦・延宝・宝暦にそれぞれ改築し、慶安二年徳川幕府より社領七石の朱印地を賜った。

昭和四十三年二月二十四日付にて神奈川県神社庁より献幣使参向神社に指定され、神社本庁より幣帛料を賜り例祭(九月)が肅行される。創建後、植樹された御社殿前の御神木は、夫婦いちようとされ、縁結びの神様として古くより県北の人々にその御神徳は崇められ尊ばれている。

平成四年五月第十二回還暦大祭(六十年に一度の祭)を記念し、大鳥居(社額)は白井永三元神社本庁総長揮毫、他境内整備並びに、平成七年七月、亀八七福神、亀八伏見稲荷神社を遷座した。

平成の御大典記念事業として、平成六年十月には参集殿、平成九年五月に大狛犬、平成十三年六月両翼殿備える神楽殿、平成十五年元旦、交通安全祈願のゴールド神社がそれぞれ竣工され、名実ともに北相模の総鎮守としての風格が整った。

# 「社報亀ヶ池」発刊のご挨拶

宮司 根岸信行



先ず以て皇室の  
の弥栄と神宮の  
愈々の御隆盛を  
謹んでお祈り申  
上げます。

平成十八年も

早くも半年を経過いたしました。氏子崇  
敬者皆様におかれましては、益々ご健勝に  
てご活躍のこととお慶び存じ上げます。当  
宮のご創建は不詳でございますが、八百

## 社報発刊に寄せて

責任総代 小林 亮



根岸宮司の永  
年の懸案であつ  
た社報の発刊が  
実現されること  
になりました。

として欣快の極みであり、衷心より祝福  
いたします。

相模原市は平成十九年三月には津久  
井四町との合併により人口七十万を擁  
する近代都市としての発展が約束されて  
います。

現在、市内の四十社の中心的な役割を

余年の歴史を積み重ねていと存じます。

さて、今年の三月、相模原市は津久井  
郡の相模湖町並びに津久井町の二町と  
合併し、人口七〇余万人、面積は横浜に  
次ぐ二番目の大都市・新相模原市が誕  
生いたしました。県北のシンボル都市とし  
て将来の飛躍が期待されます。

さて、神社界は国民ごぞつて本宗と仰  
ぎ奉る伊勢神宮が、来る平成二十五年に  
第六十二回神宮式年遷宮を斎行いたし

担つてきた亀ヶ池八幡宮は、津久井各町  
との合併に八十余社の県北神社界のリー  
ダーとしての自負と責任を果すべき宿命  
にあります。

相模原市の発展とともに、年々ご隆盛  
の一途を辿つてきた亀ヶ池八幡宮が、今回  
の社報の発刊により上溝地区のみでな  
く、市内外の神社に関係のある皆様との  
有意義な懸橋となることと祈念いたし  
ます。

先々代行平宮司、先代萬壽宮司、そし  
て現行宮司と三代に渡る根岸宮司家  
の献身的な御奉仕は、氏子崇敬者皆様の

ます。天皇陛下の御治定を仰ぎ、今年五  
月五日御用材を神宮へ運び入れる第二回  
お木曳き行事が行われ、いよいよ遷宮準  
備が本格的に始まりました。

更に天皇家におかれましては、秋篠宮  
妃殿下がご懐妊遊ばされ、本年九月には  
お子様のご誕生が期待されます。この慶  
賀の御代に当宮念願の社報が発刊でき  
ることは大変喜ばしく存じます。氏子崇  
敬者皆様方の篤いご支援ご協力を賜り、  
皆様方から愛され親しまれる社報を刊  
行したいと存じます。くれぐれもよろし  
くお願い申し上げます。社報発刊のご挨拶と  
いたします。

共感を呼び、その積み重ねが現在の亀ヶ  
池八幡宮発展の礎を作り上げたもので  
あります。

「年々歳々人同じからず」。亀ヶ池八幡  
宮に御奉仕する神職、総代、世話人、氏  
子は変化しますが、神社は永遠でありま  
す。

新しく誕生する七十万都市相模原市  
の名実ともに二之宮としての亀ヶ池八幡  
宮の弥栄のために、宮司を中心に総代、  
世話人、氏子崇敬者心を併せて御奉仕に  
邁進することを期し  
たいと思ひます。

氏子崇敬者皆々  
様の益々の平安と発  
展を祈念し、発刊の  
祝辞といたします。



### 暑中お見舞い 申し上げます

#### 宮司

根岸 信行

加藤 光明

#### 権補宜

根岸 浩行

山田 昌士

#### 責任役員

根岸 千恵子

松本 茂

根岸 満理

無藤 一男

山田 一臣

熊坂 弘次

#### 総代

小林 亮

佐藤 林作

練間 清崇

井上 七五三

竹内 一郎

北島 捷一

清水 亨

関田 崇成

鈴木 正彦

金沢 博文

#### 世話人

米山 侃

清水 恵二

小俣 旭

金子 兼吉

吉川 和宏

金子 俊次

中村 善一

大野 寛次

門倉 國政

鈴木 武雄

杉本 栄治

根岸 良郎

鈴木 敬信

荒木 茂

上島 茂三郎

佐藤 正義

吉川 佳一

田中正志

# 賑わう御社頭—初詣で・夏越祭

## 初詣で



平成十八年丙戌の元旦は、うらかな陽光の差す穏やかな年明けを迎えました。

新年に当たり、亀ヶ池八幡大社の御神徳を賜ろうとする市内外の氏子崇敬者の老若男女で、御社頭は大変な賑わいを見せました。本年は境内周りに広く立派な歩道が完成し、安全安心のうち家内安全・商売繁盛・厄除け・交通安全等、様々な願いを込めて祈願され、また破魔矢・御守等を受けられる善男善女で境内は埋め尽くされました。



## 夏越祭(茅輪くぐり神事)



七月二日(日)午後三時より、古式に則り夏越の大祓神事を執り行いました。梅雨最中の祭であり天候が心配でした。当日は昼頃より雨が降り始めましたが、大神様の篤き御神徳の御蔭でしよう、祭式開始十分前にすっかり雨が上がり陽が差してきました。私たちが日々の生活の中で知らず知らずのうちに犯している罪や穢れを人形に負い移し、茅輪をくぐって祓い清め神様の御心に叶う清く明るく正しい生活が送れるようお願いの信仰神事です。当日はご家族・友人お揃いで、三百余名のご参拝を頂き賑々しく執り行われました。ご参列者はじめご祈願者皆様のご健康を祈念申し上げます。

## 平成御大典記念事業

昭和天皇が崩御され、平成の御代に遷って十八年の歳月が経過しました。この間、全国の神社では御大典記念事業が実施されていますが、当八幡宮においても数々の事業が実施され完成しました。ここに氏子崇敬者皆様の赤誠なるご奉賛に感謝申し上げます。事業のご紹介を連載いたします。

## 御大典記念 シリーズI 大狛犬

神社には必ず狛犬が鎮座しています。神様のお使いであり、また参拝される人々の邪気を祓い、神前にお参りできるような狛犬を造りました。全国唯一の狛犬で、向かって右は親子亀を手に抱く繁栄・増殖の狛犬で、左は翁亀を抱く長寿・安泰をそれぞれ祈願した狛犬です。



親子亀を手に抱く繁栄・増殖の狛犬



翁亀を手に抱く長寿・安泰の狛犬

## 主なる年間祭事

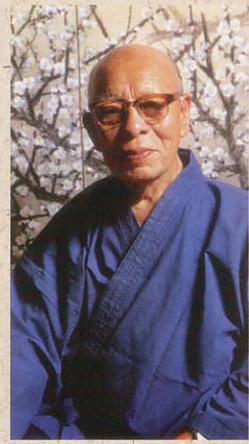
- 元旦祭…1月1日
- 節分祭…2月節分の日
- 祈念祭…2月下旬
- 春祭…3月15日
- ゴールド神社祭…春の全国交通安全週間
- 夏越祭…6月下・7月上の土・日



- 八坂祭…7月28日
- 慰霊祭…8月15日
- 例大祭…9月15日前後の日曜日
- ゴールド神社祭…秋の全国交通安全週間
- 七五三…11月中
- 秋祭…11月15日
- 新嘗祭…11月23日
- 年越除夜祭…12月31日
- 月次祭…毎月1・15日

# 吉川啓示画伯奉納干支絵画

其の一



社報の創刊に当たり、郷土相模原市の誉れ高き画家、吉川啓示先生寄贈の干支絵画を謹んでご紹介いたします。

吉川画伯は、明治四十三年上溝に生まれ、片野湘雲画伯の師事のもと日本画独特の技法を学び、昭和四十九年日本美術院特待に推挙され、院展に六十余回入選し、昭和五十五年には勲六等を受賞されました。「神奈川名所百五十景」「奥の細道をたずねて」「平成富嶽三十六景」等の数々の作品集を刊行され、また個展や合同絵画展を催され、相模原市あじさい大学では大勢の市民



**丑** 牛に乗り笛吹く少年の図…荷を引き子育てに必要な牛乳を恵み、社会に奉仕する。

に絵のご教授をされた偉人でしたが、本年二月享年九十七歳で永眠されました。ここに慎んでご冥福をお祈りいたします。

平成十三年、御大典記念事業として完成しました神楽殿の竣功をお祝いして奉納くださいました干支絵画を連載してご紹介いたします。



**子** 蕪に縋る図…十二支はしまりの干支。何にでも興味を示し食欲旺盛で繁栄する。



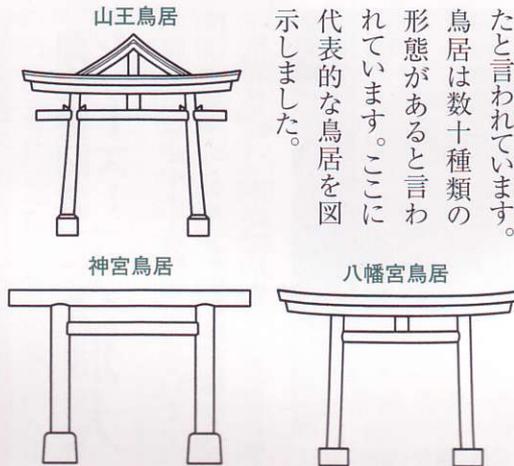
**寅** 百獣の王、ドッシリ座る図…一見怖そうな動物であるが、家族思いで仲間を守り安泰である。

## 社報「亀ヶ池」掲載作品の募集

内容は亀ヶ池八幡宮に関する諸行事、また、自分の町の出来事等のスナップ写真・絵画・作文・短歌等。

採用された作品提供の方にはご連絡いたします。

なお、ご提供された作品は当八幡宮に帰属し、返却いたしませんのでご諒承下さい。



鳥居は数十種類の形態があると言われています。ここに代表的な鳥居を図示しました。

鳥居は神社の内外を分け、内は神様が鎮ります御神域として尊ばれています。鳥居の起源は天照大御神が天の岩屋にお隠れになった際、八百万の神々が鶏を鳴かせ、その鶏が止まった木を鳥居としたと言われています。

## 神社知識！ 鳥居

私たちが神社にお参りする時、先ず鳥居をくぐります。鳥居は神社を表

## “鳥居”

## お知らせ

平成十八年例大祭

日時：平成十八年九月十七日(日)

式典：午前10時(御社殿)

お囃子：正午(五部会・石橋自治会)

剣道：午後一時(上溝剣友会・他)

神楽：午後三時(上溝番田神代神楽)

余興：午後六時半(フラダンス・氏子有志)

ご家族お揃いでご参拝をご観覧下さい。

## 七五三無事成長祈願祭

● 十一月中斎行

● すこやかパック(写真・貸衣裳美容)受付中。

※電話にてお問い合わせください。



## 平成十九年正月ご祈祷

● 十一月より申込み受付開始

● 当宮社務所へお問い合わせ下さい。

## 「浦安の舞」講習会受講生募集

● 入会対象者

：幼稚園児から小中高校生までの女子。

● 入会(ご希望の方は当宮社務所へお問い合わせ下さい。

